

【公益】社会福祉・その他福祉活動事業

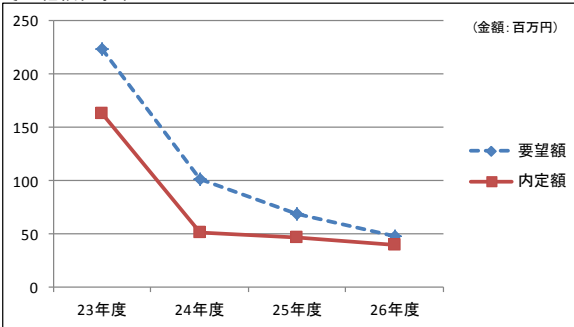
1. 補助の目的・概要

社会福祉の増進を目的とする事業の中で、他に分類されない福祉事業については、その内容を審査の上、社会福祉の増進に不可欠の事業であるものについて支援を行ってきた。

平成 24 年度の公益事業振興補助においては、幸せに暮らせる福祉社会をつくる活動を行う事業等について、支援した。

2. 補助実績（件数・金額）

その他福祉事業



| 年度 | 要望数 (件) | 要望額 (百万円) | 内定数* (件) | 内定額* (百万円) |
|------|------------|--------------|-------------|---------------|
| 23年度 | 10 | 223 | 7 | 163 |
| 24年度 | 5 | 101 | 4 | 51 |
| 25年度 | 6 | 69 | 4 | 47 |
| 26年度 | 4 | 48 | 4 | 40 |

※辞退となった事業を除く

平成 24 年度においては、5 件 1 億 116 万円の補助要望があり、そのうち 4 件 5,117 万円の支援を行った。内訳は、幸せに暮らせる福祉社会を作る活動事業 2 件に 665 万円、法人格を有さない団体に対して行う支援事業 2 件に 4,452 万円の支援を行った。

3. 補助事業の事例

(一社) 日本いのちの電話連盟

東日本大震災から 1 年半がたち、苦難に出会った人々に相談員がより深く耳を傾け、寄り添えるように共に学ぶ場とする研修会「いのちの電話相談員全国研修会」の開催に支援を行った。



| | | |
|---|--|--|
| <p>(公財)日本障害者リハビリテーション協会</p> <p>普遍的なテーマを同時にとりあげつつ、情勢の影響を受けやすく、めまぐるしく変化する障害分野の情報を正確・迅速に提供し、社会における障害分野の位置や問題意識への理解を広げる情報誌の発行事業に支援を行った。</p> | | |
|---|--|--|

4. 補助事業の成果等

幸せに暮らせる社会を作る活動として（一社）日本ののちの電話連盟が行った第30回いのちの電話相談員全国研修会では、電話相談員がより良い聴き手となるため693名が集った。テーマは「支えあう、いのちのち—震災から1年半」として、基調講演とシンポジウムを行った。東日本大震災によって、心に傷を負った被災者の他、直接震災の被害を受けてはいないが、メディアの情報等で恐怖や不安を感じる方の相談も行っており、時宜のこなった事業を行うことができた。

また、(社)介護福祉士養成施設協会の行った介護福祉士養成施設の教職員研修会に支援を行った他、法人格を有さない団体に対して行う支援として(福)全国心身障害児福祉財団と(公財)日本障害者リハビリテーション協会が行った事業に補助を行い、幸せに暮らせる社会の実現に向けて、療育相談や普及啓発等さまざまな事業が行われた。

5. 補助事業の評価

事業完了後の事業者の自己評価の総合評価は、評価対象24件(1補助事業で複数項目を評価していることがあるため、前段『2. 補助実績』の件数とは異なる)のうち、5段階評価で、評価5[極めて高い]が1件、評価4[比較的高い]が16件、評価3[ほぼ問題ない]が7件であった。

事業者の自己評価等を踏まえJK Aで評価を行ったところ、A++[極めて高い]が2件、A+[比較的高い]が12件、A[概ね十分]が10件と、すべての事業で事前に計画していた事業の目標は達成され、事業の広報も概ね十分とする水準を満たしていたと評価している。